

市民と市長の対話集会

「つながるまち小郡」を語ろう！

会 議 録（要約）

説明) 健康づくりポイント制度の導入について

(会場：小郡交流センター)

○健康づくりポイント制度の導入について

加地市長：

健康づくりポイント制とは、市民のボランティア活動やスポーツ活動への参加を促し健康づくりや生きがいづくりを推進する制度です。ボランティアやスポーツ活動は、とても良いことで大事なことだと皆さんわかっていらっしゃると思います。これを、より1歩進め、もっと皆さん参加してくださいと背中を押すために、対象の活動への参加でポイントを付けて特典を進呈しようという制度です。

まずは、介護予防事業として高齢の方を対象にこの制度を導入しようと思っています。海外の例を見てみますと、社会とつながりを持つことが健康に良いこととして医学データに出ています。いろいろな活動にまずは「参加する」ということで健康が維持できるということです。そうすることによって、ご自身だけでなく社会全体にとって医療費や介護保険の給付費を抑えることができ、皆さんのためにもなります。そんなことを促していく制度です。

高齢社会を迎えて誰もが住み慣れた地域で最後まで自分らしく暮らせる仕組みづくりのためには、閉じこもりがちの人、孤立しそうな人がどうやったら地域の中へ出ていただけるかということがとても大事になります。この健康づくりポイント制度をつながりのきっかけにしていいただければいいなと思っています。

サービスチェックで皆さんにお意見を求めましたら、このようなご意見を頂きました。

1つ目、「すでに実施されている地域や他の事業のポイント制度とのすみわけや連携が必要である」ということです。実は先進例があります。御原地区では地域の参加ポイント制が設けられています。まち協の行事に参加するとシールを貼ってもらえるようになっています。ポイントが貯まると何がもらえるんですかと尋ねたら、地域特産の野菜がもらえるとのことでした。そんな取組もできるところから始まっているところもあります。

2つ目、「先行自治体の良い例を調査研究してほしい。」

3つ目、「多くの市民が参加できるように検討してほしい。」

4つ目、「健康診査の受診も対象にすれば受診率の向上も見込めるのでは。」これは将来的に考えていきたいと思っています。健診をしっかり受けて頂いて管理をして頂かないといけないですね。

次に、これからの取組の方向性ですが、継続ができて誰もが参加できるしくみづくりが大事です。先進自治体の例も調査しまして、対象とするイベントや活動をどのようにしたらいいのか、地域・福祉活動団体の意見を聞いてみて決めていきたいと思っています。

2つ目、すでに実施中の他のポイント制度との連携です。先に実施中の取組を損なわずに相乗効果による充実を図っていくもので、うまく先行する制度と組み合わせてやっていきたいと思っています。

成果を検証し介護予防事業からすべての市民が対象の事業へ、さらにつながるまちへということで色んなことを検証していきたいと考えています。制度によって市民に様々なことに参加していただき、参加者の追跡調査をしてみたら医療費がかからなくなった、この分が皆にとって大変な利益になります。こんなことを積み重ねていくと実証例として成果が数字として出てくるんじゃないかと思います。

早い時期に実施に向かって、今研究を進めているところです。